

水谷洋一市長(右)も出演したモニターツアーの収録風景



オホーツク 網走 美幌

北見支社 〒090-8655
北見市幸町1丁目2番17
▷報道 ☎0157-24-4456
FAX 25-7980

Eメール
kitami@hokkaido-np.co.jp
▷広告・販売 ☎24-4455

網走支局 〒093-0018
網走市南8条西2丁目
☎0152-44-7211
FAX 45-0022

美幌支局 〒092-0050
美幌町大通北4丁目
☎0152-73-2018
FAX 72-3794

遠軽支局 〒099-0404
遠軽町大通北2丁目
☎0158-42-2211
FAX 42-5575

紋別支局 〒094-0015
紋別市花園町2丁目
☎0158-24-2100
FAX 24-7349

DIAMONDSOLAR
エコプラン
TEL (0157) 36-8088 FAX (0157) 36-8088

上海のテレビ番組収録

網走で中国人向け健康ツアー

11月から月2回、定員25人で

【網走】札幌に拠点を置く中国系旅行社キラクサービス(馬宏軒社長)は13日から、網走市内などで中国人向け健康滞在ツアーのモニターツアーを始めた。同社は上海の大手メディアグループと連携し、ツアーの様子を収録。テレビ番組として上海で放映、PRした後、11月から本格的なツアーに乗り出す。

モニターツアーは「医食同源」をテーマに、医師やフードコーディネーターが同行。8泊9日の日程で、中国のタレントを含む参加者10人が市内で食材を調達し、最終日に健康料理を作り、味や健康志向で競う。参加者はアスパラや新野菜「行者菜」の収穫を体験するほか、北見市常呂町のワッカ原生花園で行われるウォーキングイベント(10日)に参加したり、温泉めぐりを楽しんだりする。収録は13日から始まり、網走スポーツ・トレーニングフィールド(市呼称)でオープンングを撮影。水谷洋一市長がランニングウェア姿でゲスト出演した。

中国では、経済成長に伴う生活水準の向上などにより、肥満や生活習慣病などが社会問題化。一方で、長寿国である日本の健康志向に関心が高まっている。番組は10月、上海エリアで10回放送。視聴可能者数は1億3千万人に及ぶ。馬宏軒社長(31)は「網走は中国人に人気の観光地で、健康な食材が豊富。これまでの観光に健康の要素を加えれば、ツアー客のニーズに応えられる」と話した。本格的なツアーは11月以降に月2回、定員25人で行う予定。市観光課は「中国人の観光客は1人あたり10万円以上の消費額があるとされ、定期的にツアーが組まれば、市への経済効果は大きい」と期待感を示した。(斎藤直史)

は…

【滝上】はだしで運動して、体力・運動能力の向上を目指す実践が滝上小で行われている。一般社団法人「日本ベアフット・ランニング協会(東京)のコーチでもある松浦弘泰校長(53)が指導に当たる。本年度は旭川市内の整形外科医の協力で、児童の「足裏」の変化を最新の足圧測定器で定期的に計測し、効用を検証するデータ収集にも乗っかっている。(斎藤直史)



足裏の状態を確かめるため足圧測定器に乗る男子児童

証へ

る証拠なんだよ」と語りかけた。また、足音が静かになるコツは「床を蹴るんじゃなく、足裏全体と股関節を上手に使うこと。それが身につけば速く走れる」とアドバイスし、自ら走って児童に手本を示した。

REPORT



2018年3月にも閉校となる緑町小

誕生20年も美味 純米吟醸びほろ

【美幌】町内産米の「ななつぼし」を原料に仕込んだ日本酒純米吟醸「びほろ」の新酒発表試飲会が10日夜、美幌グランドホテルで行われ、誕生20周年の節目に造られた美酒に町民約120人が酔いしれた。

販売する町内4店ずつの「びほろ酒俱樂部」(平田美木男代表)の主権。田中酒造(小樽)に醸造を依頼し、昨年と同量の720リットルを製造した。

会場に並べられた「純米吟醸びほろ」の新酒。多くの町民が酔いしれた

緑町小、18年3月閉校へ

清里小と統合 学校側が希望

【清里】町教委は13日の町議会総務文教委員会、緑町小(児童数6人)の校長やPTAなどから児童減少による教育環境の悪化を懸念し、2018年3月の閉校と清里小(同168人)への統合を要請する申し入れがあったことを明らかにした。町は了承する見通しで、町内は中学校が清里中1校、小学校は清里小、光

平田代表は「原料米の品質が良く、大おおいしくできた。多くの町民に味わってほしい」とあいさつ。会場には、しょうゆ風味調味料「美幌豚醤油まんま」で味付けしたジンギスカン風のたれ付き豚肉「豚ジカン」なども用意され、新酒のつまみとして振る舞われた。公務員の高橋優奈さん(28)は「さっぱりしていて、飲みやすい」とこめ嫌な様子だった。

300ミリび650円、720ミリび1550円、1.8び2490円。同倶楽部の酒の松田屋、市川屋酒店、美幌峠物産館、肉の田村で販売している。(嶋田直純)

岳小の2校となる。

緑町小は1921年に札幌尋常小学校上札鶴特別教授場として開校。55年には当時併設していた中学校と合わせ500人以上が在籍したが、次第に減少が進んだ。94年からは山村留学を受け入れ、これまで延べ163人を迎えたものの、留学児童を加えても全校で10人前後という小所帯を脱せず、今後も児童が増える見込みがないことから閉校を決断した。

閉校の時期と清里小への統合の意向は5月末に緑町小の臨時PTA総会で決定し、大岩芳江校長などから今年13日に榑引政明町長に報告された。榑引町長は「地域の意向を最大限に尊重したい」として、閉校・統合に向けて協議を進める考えを示した。(光嶋るい)

た。

た。